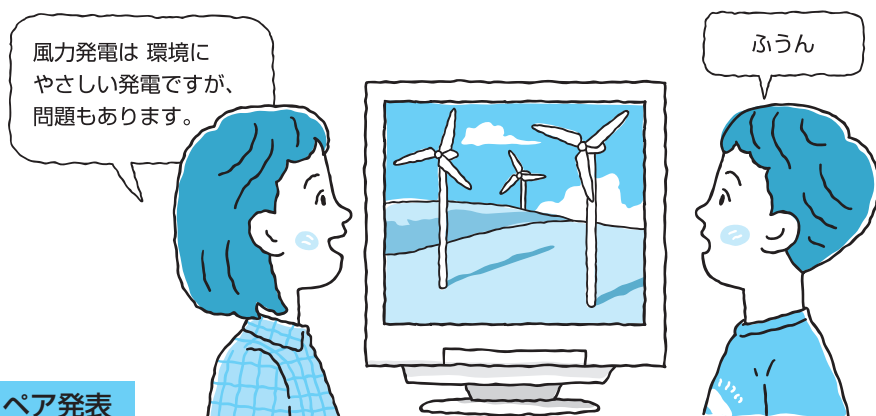


発表の指導

指示例

1

まず、自分の発表を隣の友だちに聞いてもらいます。交代で発表しなさい。おかしいところがないか、お互いに感想をいいなさい。



ペア発表

発表の練習は、まず原稿を読むことから始めます。しかし、自分1人で読む練習をするのではなかなか意欲が湧かないので、パソコン室にあるパソコンを使って、ペアで発表の練習をさせます。読めない字があったり、文のつながりが悪い部分などは、ここでチェックできるはずです。

指示例

2

グループで発表会を開きます。そこで、本番に発表する子を1人決めなさい。



ミニ発表会

ペアでの発表会の次は、グループでのミニ発表会を行います。ミニ発表会では、実際にプロジェクターを使って画像をスクリーンに映し出させます。学校のプロジェクターの数が多くない場合は、ミニ発表会を行っているグループ以外の子どもたちは自習をさせます。

発表者には、聞いている人のほうを見て発表するよう指導します。ついついプレゼンテーション画面を見てしまうため、簡単なようで、これがなかなか難しいのです。

なお、本番の発表者は、子どもたち同士で相談させます。複数の立候補者が出た場合は、ジャンケンなどで決めさせます。ポスターセッションのようにして全員に発表させる方法もありますが、プロジェクターの数の問題もあるし、緊張感をもたせるという点でもこのようなミニ発表会のほうがよいでしょう。

発表会の会場は、下の図のようにします。発表者が、パソコンの操作をしながら発表できるようにしておくことがポイントです。発表者の数は5人程度が望ましく、これ以上だと聞くほうの集中力が切れます。

なお、発表会の流れは以下のようにします。発表者の紹介があって、その後、発表し、感想や意見を聞き、最後に発表会全体の感想をノートに書かせます。時間があれば感想を読ませてもよいでしょう。

